



いい顔いい声いい心

2026.10.9（金）VOL.10 文責：校長 野田 浩司

<https://www.nagasaki-city.ed.jp/irabayashi-e/>



「心と心が響き合う秋に」

爽やかな秋風とともに、長崎の街に「モッテコーイ」の掛け声が響く季節となりました。伝統ある「長崎くんち」が始まり、子供たちの表情にもどこか誇らしげで、弾むような熱気が感じられます。

私事で大変恐縮ですが、先週は病気療養のため4日ほど学校をお休みさせていただきました。復帰後、子供たちからの「校長先生、大丈夫ですか？」「元気になってよかった！」「授業に来てくれるのを待っていたのに」という温かい言葉や、保護者の皆様からたくさんの心配や励ましのお声をいただき、胸が熱くなりました。皆様の温かなお気持ちから大きな元気とパワーをいただきました。毎日学校に出勤して、子供たちや保護者の皆様と交流することが、「普通」ではなくとてもありがたいことなのだと改めて感じました。

さて、実りの秋を迎えた学校現場も、活気にあふれています。いよいよ10月14日には小体会、そして11月11日には小音会が迫ってまいりました。練習を重ねる中で、子供たちの気持ちも高まっています。

私は教諭時代、音楽教育の職人になりたいと思い、長年子供たちと向き合ってまいりました。現在でも音楽を通して「子供たちの豊かな心を育てたい」という思いは何一つ変わっていません。

一曲の美しい合唱や合奏を創り上げるためには、互いの音によく耳を傾け、一つ一つの音や言葉を大切にしながら、自分の思いを音楽で表現していきます。「みんな違ってみんないい」ということもとても大切ですが「みんなそろって気持ちいい」という感覚も社会生活をしていく上では重要になってきます。

スポーツの秋、芸術の秋に、子供たちが様々な経験を通して心豊かに育ってくれることを楽しみにしています。11月1日（日）の日曜参観の際にも、子供たちの歌声や小音会出場クラスの演奏を聴く機会がありますのでご期待ください。



4年生の合唱の練習の様子です。楽曲は弓削田健介さんの「MUSIC」。とても素敵な演奏になりそうです。



6年生が「総合的な学習の時間」で探究している「リーダーについて」の学びで、校長室にインタビューに来てくれました。

※このような日々の情報はホームページのフォトギャラリーに随時載せています。ご覧ください。